

消防の お知らせ



東京消防庁

公益財団法人 東京連合防火協会

No. 207 令和2.3

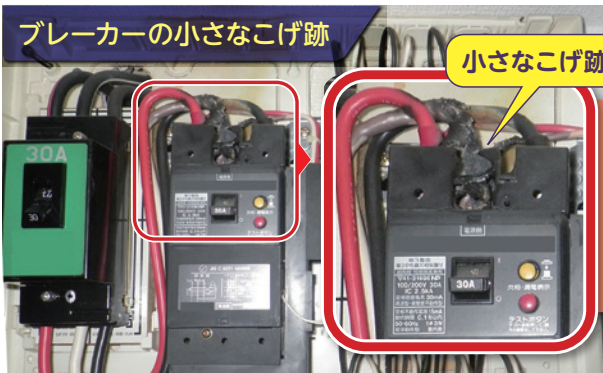
3月1日～3月7日 春の火災予防運動

令和元年度 東京消防庁防火標語

もう一度 確認 安心 火の用心

作者 菅野 珠加さん
江戸川区在住

電気製品の「小さなこげ跡」でもご相談ください!



もしかしたら
大きな火災に



東京消防庁では、電気製品の「小さなこげ跡」も火災として扱い、原因を調べて火災予防につなげています。電気製品のこげ跡を見つけて心配な場合は、東京消防庁ホームページや東京消防庁公式アプリ内の東京消防庁版電気製品火災相談ガイドをご覧ください。

電気製品の火災を防ごう!

電気ストーブ

- 周囲に衣類や紙など燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 就寝時や外出時は電源を切りましょう。寝具類が接触したり、ベットの枠が熱せられて火災になった事例もあります。

コンセント・電気コード

- コンセントからプラグを抜くときは、プラグ本体を持ちましょう。
- コンセントに埃がたまらないように、掃除しましょう。
- コードは折り曲げたり束ねた状態で使わないようにしましょう。

充電式電池

- 携帯端末などを外出先でも充電できるモバイルバッテリーや携帯電話、ノートパソコンなどに使用されている電池から出火した火災が増加しています。原因の多くは「他社の充電器を使った」ことによるものです。

回 覧 (裏面もごらんください)





0歳～5歳(乳幼児)の事故を防ごう!

0歳～5歳(乳幼児)の事故で、平成30年中は9,490人が救急搬送されています。年齢別にみると、1歳児が最も多く2,327人、次いで2歳児2,017人、3歳児1,572人、0歳児1,559人、4歳児1,154人、5歳児861人となっています。

年齢ごとに見る特徴的な事故

● 0歳

ベッドやソファといった家具や、人(抱っこ等)などから「**落ちる**」事故が多く発生しています。また、包み・袋やたばこ、玩具を「**誤って飲み込む**」事故も多く発生しており、6か月になると何でも口に入れてしまうのが特徴です。



● 2歳

1歳児と同じく机・テーブルなどの家具類に起因する「**ころぶ**」事故が多く発生しています。自転車の補助イスから「**落ちる**」事故や手動ドアに「**はさむ・はさまれる**」事故も多く発生しているのが特徴です。



● 1歳

一人歩きを始める頃で、階段や椅子、ベッドなどから「**落ちる**」事故や家具、机・テーブルに起因する「**ころぶ**」事故、「**ぶつかる**」事故が多く発生しているのが特徴です。



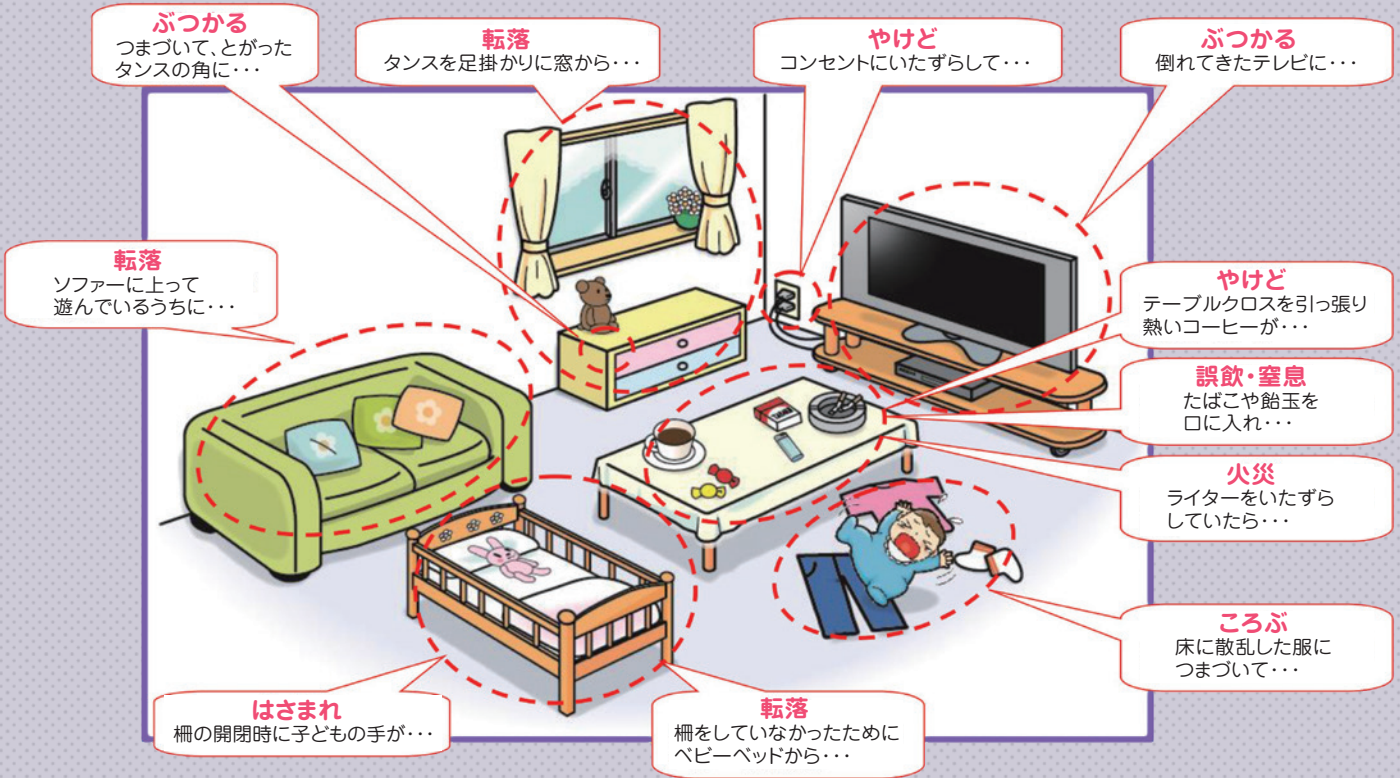
● 3～5歳

階段や道路で「**ころぶ**」事故が多く発生しています。また、自転車の補助イスから「**落ちる**」事故、ビー玉やアメ玉類などを「**誤って飲み込む**」事故も多く発生しているのが特徴です。



家の中の危険を確認しましょう!

～子どもの成長とともに危険がないか確認しましょう～



救急車を呼ぶか迷った時は

病院? 救急車? 迷ったら...
#7119

救急相談センターをご利用ください。

詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



問合せ先



東京消防庁ホームページへは
こちらからアクセスできます